

21世紀をリードする鹿児島大学へ



鹿児島大学

KAGOSHIMA UNIVERSITY

平成9年1月



# 鹿児島大学は10,000人<sup>以上</sup>の 学生が学ぶ総合大学です。

各学部・各種研究センターの他に、大学院・専攻科並びに併設医療技術短期大学  
部なども一体になって地域社会に貢献しています。



稲盛会館



附属図書館

## CONTENTS

- 鹿児島大学の改革にあたって…………… 1
- 改革の概要…………… 2
- 新生 法文学部…………… 6
- 新しいあゆみ！ 教育学部…………… 8
- 地球人は科学する 理学部…………… 10
- 人間性豊かで国際的な  
医師・研究者をめざして 医学部…………… 12
- 豊かな人間性と最先端医療技術、社会に  
求められる歯科医療をめざして 歯学部…………… 14
- 自然と共生するエンジニアの夢 工学部…………… 16
- 21世紀へはばたく 農学部…………… 18
- 海洋環境を保全し水産資源の持続的  
高度利用をめざす 水産学部…………… 20
- さらに高度な教育と研究をめざして…………… 22
- 有意義な学生生活を送るために…………… 24

表紙デザイン… 朝もやの中で桜島とおめでたい鶴の飛翔を構成することによって21世紀に向う幸先の良さと意欲とを表現しました。(教育学部美術科デザイン 永松寛夫)



# 鹿児島大学の改革にあたって



鹿児島大学長 早坂祥三

鹿児島大学では、平成5年1月より3年半の時間をかけて、教育面の改革案とそれに伴う組織の改革案を作るために、全学を挙げて精力的に努力して参りました。その結果、昨年6月に大学全体の改革案がまとめられ、平成9年度概算要求事項として提出し、現在政府の最終決定を待っているところです。

この冊子は、皆様に十分なお理解を頂くため、鹿児島大学改革案の全体像についてご説明することを目的に作られました。

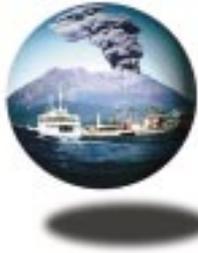
4年ないし6年という限られた年限の中で行われる大学教育を更に効率のよいものにすべきだ、という社会からの要請と、大学内での必要性によって、教養教育と専門教育のすべてについて見直しを行ったわけです。

教育効果を考えるときには、当然、教育すべき学問諸分野のめざましい発展状況を見過ごすわけにはいきません。それにふさわしい学科や講座への組み替えなどが必要になってきます。また従来は、入学後1年半の教養部における教養教育課程と、その後の各学部における専門教育課程に峻別されていた制度を改め、在学年数（4年または6年）を通して一貫した教育制度にきりかえました。その結果教養部という組織は発展的に解消され、また、従来の教養課程と専門課程の区別は廃止され、それらが互いに最も効率のよい組合せで実施されることになりました。



この冊子には、それらの具体的な内容がわかりやすく説明されていますので、これをよく読んで、鹿児島大学における教育改革と組織改革の趣旨、目的、そしてどのように改められたのかを十分に理解して頂きたいと思います。

なお、ここに述べられている事柄について、ご質問やご意見などがあれば、ご遠慮なく後記の問い合わせ先にお送り下さいますようお願い申し上げます。



# 改革の概要

## 改革の理念・目標

近年の科学技術の進展や国際化、情報化の進展、産業構造の変化などは著しく、大学に対する社会からの要請も高度化かつ多様化してきました。また、18歳人口の減少や国民の生涯を通じた学習のニーズも高まりつつあります。

このような背景や要請を踏まえて、学術研究の高度化、学際化を推進するとともに教育の個性化、高度化、多様化を図り、優れた人材を育成することを改革の主眼としています。

さらに、南九州に位置する総合大学としての特色を活かし、地域に密着した教育研究を推進し、個性豊かな大学を目指しています。

## 教育の改革

本学は、平成8年度から従来の教養課程と専門課程の区分を廃止し、新たに共通教育科目、基礎教育科目、専門教育科目に区分した教育課程を編成し、これらを有機的に体系化した4年又は6年一貫教育を全学教員の参加のもとに実施しました。また、平成9年度からの教育研究組織の改革に合わせて、教養部は発展的に解消され、共通教育科目及び基礎教育科目は共通教育委員会において企画し、実施していくことになります。

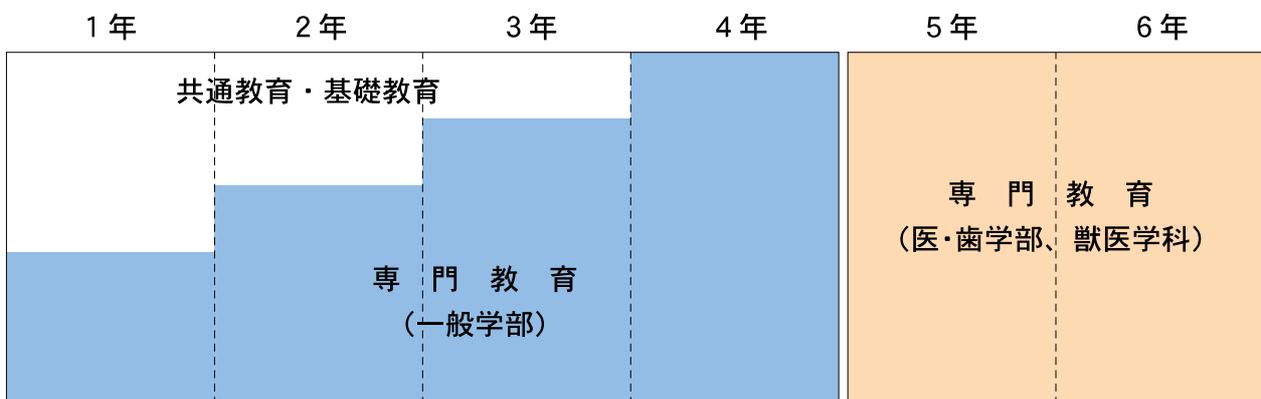
今回の改革は、本学の教育理念・目標に基づき、総合大学としての特色を活かした幅広い人材の養成を目指しております。

その特色などは次のとおりです。

### 1.改革の特色

#### (1) 体系的な一貫教育の実施

共通教育、基礎教育と専門教育を有機的に体系化したカリキュラムを編成し、4（6）年一貫教育を全教員の参加のもとに実施する。



## (2) 基礎教育科目の整備と充実

主として理系学部の専門教育を理解できる基礎学力を養うための科目群の充実を図り、基本となるべき共通性をもった原理的な専門の基礎教育を体系的に修得させる。

## (3) 開放科目の設定

専門教育科目の一部を、当該学部学生以外の学生にも開放し、教養科目としても読み替えられる方式を取り入れ、授業内容の多様化を進める。

## (4) 学生の勉学意欲の増進のための動機づけ教育の導入

学生の勉学意欲をはっきりさせるために、入学後の早い段階でそれぞれの学部の入門講義あるいは体験学習等の開講による動機づけ教育を導入する。

## (5) 情報教育の充実

情報化社会に対応し、高度化する情報を処理する能力を養うため、情報科学科目を全学必修とする。

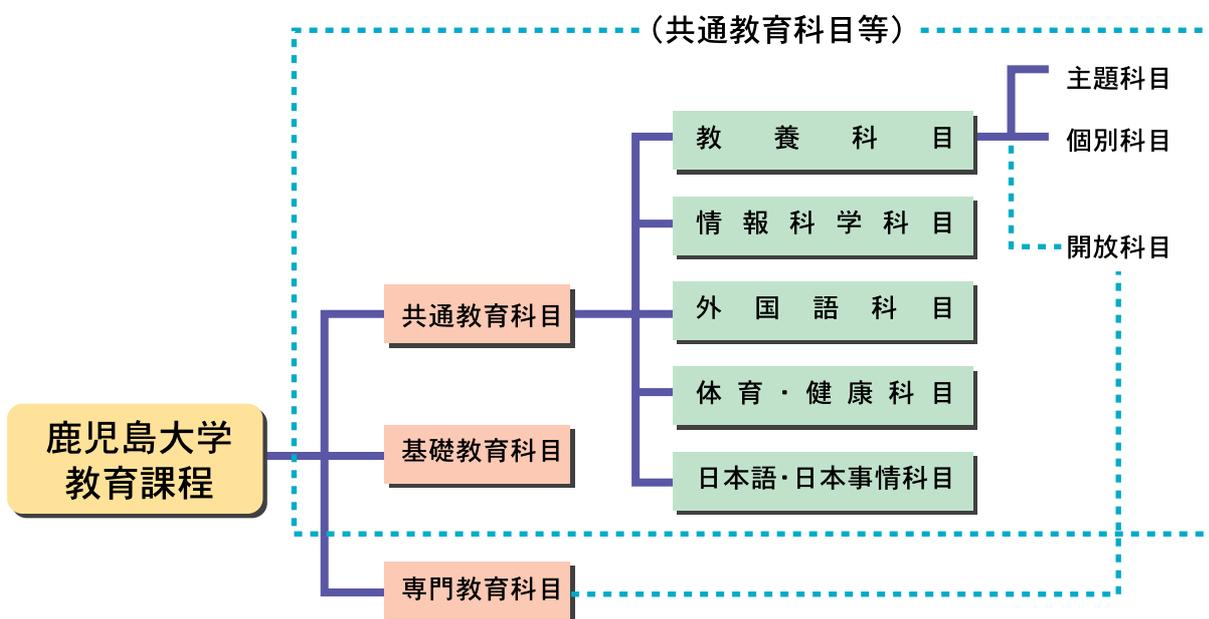
## (6) 外国語科目の充実

外国語により表現された内容を正確に理解し、表現能力を高めるなど国際理解と交流の能力を養う外国語科目の充実を図る。

## (7) 授業方法の改善と評価

双方向型授業、視聴覚機器の利用、野外実習などの拡充による授業方法の改善や学生による授業評価を授業に活かす。

## 2.教育課程の構成



## 3.教育の目標と内容

### (1)共通教育科目

高等教育での人格形成の基盤を担う重要な科目群として設定し、豊かな教養、総合的な判断力、深い人間性の育成を目指す科目として、次の5群に分け、それぞれの教育目標を掲げました。

### ○教養教育科目

- ・全学的に企画した総合的な講義や各学部専門科目を開放する開放科目の活用によって、学生の履修選択の幅を広げるとともに多様な勉学の志向に応えるように低年次から高年次まで開講する。
- ・諸科学の基礎的な方法を理解し、人類が直面している諸問題を広い視野に立って明らかにするとともに、論理的な思考能力、分析力を高め、総合的な判断力を養い豊かな人間性を育成する。

### ○情報科学科目

- ・情報科学科目を独自の科目として新設し、実際にキーボードに触れて情報活用力をつけるなど情報教育の充実を目指す。
- ・情報がもつ社会的、文化的な側面や機能に関する知識を深め、情報処理及び情報活用能力を育成する。



### ○外国語科目

- ・表現能力を高めるとともに、諸文化と価値体系の多様性に対する理解を深め、国際理解と交流の能力を涵養する。
- ・読み、書き、聞く、話すための基本的な知識を目指すコアメニューと日常会話、時事外国語など学生が興味をもって学習できる自由選択のオープンメニューによる発展的授業を開設する。またコアメニューでは授業クラスを少人数化する。

### ○体育・健康科目

- ・体育・健康科学理論において、生涯にわたって豊かな人生を送るための心身の健全な育成と健康の維持増進に関する知識を深める。
- ・理論と関連して、心身の能力開発、健康づくりのための効果的な運動の行い方などの実習と生涯体育を実践する能力を涵養する。

### ○日本語・日本事情科目

外国人留学生を対象として開設し、異文化としての日本文化を中心に、日本の社会構造、日本社会で生活していく上での必要な知識、慣習などを含め、多面的に学習し、基本的な日本語の運用能力を養う。

## (2)基礎教育科目

- ・入学性の多様化に伴い、中等教育から高等教育への橋渡しとして、専門教育科目を理解できる基礎学力を養う。
- ・専門とする学問について、その基本となるべき共通性を持った原理的な「専門の基礎」を修得し、専門教育への円滑な移行を行う。

## (3)専門教育科目

- ・学部の教育理念・目標に基づき、より高度で内容の充実した専門教育を目指す。  
また、勉学の目的意識をはっきりさせるため、入学後の早い時期に動機づけの教育を行い、専門教育への方向性を持たせる。
- ・科学技術の急速な進歩、学際化、情報化、国際化など社会の変化に対応するため確かな専門知識と豊かな創造性を身につけ、普遍的な諸問題や今日的な諸課題について柔軟に対応できるような人材を育成する。

## 教育研究組織の改革

教育改革に伴い、教養部を発展的に解消し、各学部理念・目標に添って次のように教育研究体制の整備充実を図ります。

	現 行	改組後
法文学部 学科の改組 入学定員の改定	法学科 145人 経済学科 145人 人文学科 150人	法政策学科 135人 経済情報学科 165人 人文学科 155人 3年次編入 10人
教育学部 課程の新設・改組 入学定員の改定	小学校教員養成課程 210人 中学校教員養成課程 100人 養護学校教員養成課程 20人 特別教科（保健体育） 教員養成課程 30人	学校教育教員養成課程 250人 養護学校教員養成課程 20人 生涯教育総合課程 35人
理学部 学科の改組 入学定員の改定	数学科 44人 物理学科 39人 化学科 38人 地学科 28人 生物学科 33人	数理情報科学科 43人 物理科学科 49人 生命化学科 50人 地球環境科学科 50人
医学部 講座の増設	医学科 100人	医学科 100人 「医療総合科学講座」の増設
歯学部 講座の増設	歯学科 60人	歯学科 60人 「歯科基礎科学講座」の増設
工学部 学科の新設・改組 入学定員の改定	機械工学科 108人 電気電子工学科 110人 建築学科 64人 応用化学工学科 94人 海洋土木工学科 54人 情報工学科 40人	機械工学科 103人 電気電子工学科 90人 建築学科 62人 応用化学工学科 74人 海洋土木工学科 51人 情報工学科 60人 生体工学科 60人
農学部 講座の再編 入学定員の改定	生物生産学科 114人 生物資源化学科 47人 生物環境学科 52人 獣医学科 30人	生物生産学科 84人 生物資源化学科 62人 生物環境学科 67人 獣医学科 30人
水産学部 講座の再編	水産学科 140人 水産教員養成課程 10人	水産学科 140人 水産教員養成課程 10人



# 新 生

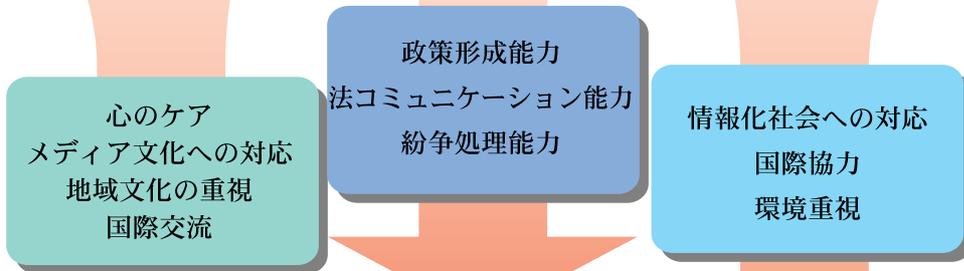
# 法文学部

現代社会は複雑多様な価値観が錯綜しています。それは、国際化、情報化、地域社会における過疎化・高齢化などさまざまです。こうした社会においては、个性的でかつ、人間に対する深い洞察力を備え、多様な価値観に適切に対処することのできる実践的な能力を持つ人材が強く求められています。新生法文学部は、このような人材の養成を目指します。

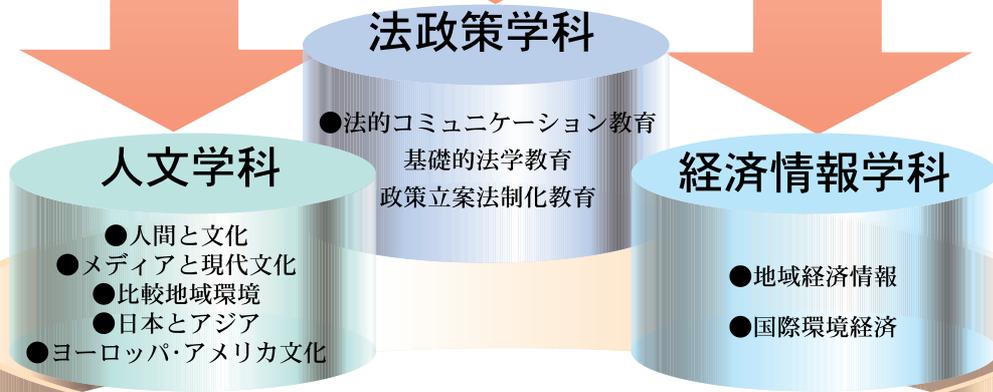
社会的要請への対応

## 学科編成の原理

人間と文化 社会の規範と構造 地域と情報



学科およびコース



# 新 法 文 学 部

## 地域社会への卒業生の還元

国家公務員、地方公務員、法曹、司法書士、社会保険労務士、税理士、システムエンジニア、教員、学芸員、カウンセラー、家庭裁判所調査官、ジャーナリストなど

## 法政策学科

法政策学科は、従来の「法律専門家養成型」法学教育にとどまらず、あらゆる分野において要求される実践的な法的能力を兼ね備えた次のような人材を養成する現代型法学教育を目指しています。

- ①政策立案・法制化能力を持った人材
- ②論理的総合的紛争解決能力を持った人材
- ③実践的な法的交渉能力を持った人材
- ④高度な政策情報・法情報の処理能力を持った人材



## 経済情報学科

- ①体系的段階的な教育

実習による問題啓発にはじまり、問題解決型の手法までの4年一貫教育を実施します。

- ②二つの教育コース

地域経済・社会の要請にもとづいて、「地域経済情報コース」と「国際環境経済コース」を新設しました。

- ③体系化された情報処理教育

実習を中心とし、初歩から高度な情報処理科目までを段階的に履修します。

- ④新組織の編成

自然科学分野を含めた総合的な教育研究組織の整備を行います。

- ⑤高等学校教諭（商業）免許の取得

従来、（地歴・公民）の免許しか取得できませんでしたが、（商業）も取得できるようになります。

## 人文学科

人文学科は、人間の思想と行動について深い洞察力を磨き、日本をはじめ世界の諸文化に対する理解を深めるとともに、現代社会の発展動向を的確に把握し、社会・文化的諸問題に適切に対処できる人材の養成を目指して、以下のような充実を図りました。

- ①現代社会における「人間精神」の再認識と「心のケア」を目指した教育の強化
- ②高度情報化とメディア社会への対応—「メディアと現代文化コース」の新設—
- ③「地域社会」からの視点と「南九州」の地理的条件を活かした教育分野の充実
- ④「国際的素養」と「コミュニケーション能力」を持った人材の育成
- ⑤少人数教育と実践的教育による「課題解決能力」の向上を目指した教育



## 新しいあゆみ！

## 教育学部

新しい世紀の到来に向かい、鹿児島大学の改革に則して、創造的教育の構築と総合的な実践力の向上をめざし、以下で説明するように教育学部は改革されます。学校教育教員養成課程への統合、生涯教育総合課程の新設に加えて教育と研究をさらに発展させるために学部全体で広範囲な努力をしています。

### 学校教育教員養成課程：教育専門家の総合的な養成

この課程は、生涯学習の視点に立つて教育の系統性・一貫性に基づく教育の実践力、教科の専門的な力量、児童生徒の理解や生活指導力を高めいじめ不登校、中途退学等の問題にも対応できる学校教育の専門家を養成する課程です。したがって、本課程はこれまでの小学校教員養成課程、中学校教員養成課程、特別教科（保健体育）教員養成課程を、有機的に総合化した課程といえます。

- 学校教育教員養成課程は、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家政、英語、教育学、心理学の12の各専修ごとに入学し、所属の専修の専門領域を深く学びながら、学校教育の諸分野について理論と教育実践のための学習を修めます。
- 入学後、学校教育や生涯教育などの基礎的で包括的な学習をしながら、初等教育コース、中等教育コースのいずれか一つの履修コースを選択して、小学校や中学校などの教員になるための学修をします。
- この課程を卒業すれば、小学校教員免許状と専修に対応した中学校・高校の一つの教科（教育学専修と心理学専修は任意の一教科）の免許状を取得することができます。なお、履修の仕方によっては、他の課程や教科の一種免許状、幼稚園教諭の一種免許状が取得できます。

### 教育学部の各課程

- 学校教育教員養成課程：12の専修
  - 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家政、英語、教育学、心理学
- 養護学校教員養成課程
  - この課程は、今回特に改革はありませんが、学校教育教員養成課程ができ、生涯教育総合課程が新設されることによつて、他の2課程と連携して、より充実した学修が可能になります。
- 生涯教育総合課程：2つのコース
  - 地域生涯教育コース（地域社会教育専修、国際理解教育専修）
  - 健康教育コース



## 生涯教育総合課程：地域と生涯教育に貢献する人材の養成

この課程は、本学部の教育諸科学の学際的研究の蓄積を基盤にして、地域社会教育、国際理解・交流・貢献、心身の健康教育等の生涯教育に携わる人材を養成するために、新たに設置する課程です。

### I 地域生涯教育コース

このコースは生涯教育と学校教育を含め広い視野で見つめ、さまざまな生涯学習の分野で力量が発揮できる人材を養成します。

#### ◎地域社会教育専修

特に地方自治体における生涯学習の機関や施設での専門家、企業内における生涯学習の担当者が社会的に要請されている状況に対応して、地域社会教育を核にして、関連の諸分野を広く学習する専修です。

養成される人材としては、社会教育主事、自治体などの社会教育・生涯教育分野の専門家、自治体の教育・文化分野を担当する力量をもった職員、一般企業内での生涯教育を担当する力量をもった人材などがあります。

#### ◎国際理解教育専修

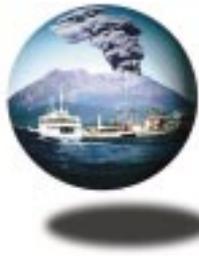
国際理解教育は、諸外国についての様々な知見を広めるとともに他国の人々と交信する能力を身につけることや国際的な連帯と協力の意義を理解し、世界の諸課題に参加する意志を形成していくことを専門的に学ぶ専修です。

養成される人材としては、国、自治体の国際理解・交流部門の職員、国際・国内企業、通訳、マスコミ、ジャーナリズム関係、留学生指導者、帰国子女受入れ教諭、英語教諭などがあります。

### II 健康教育コース

このコースは、幼児から高齢者に至るまで、誰でも生きがいのある充実した生活を送り豊かな人生を楽しむことができる社会をめざして、健康教育や運動科学の分野で中心的な指導者になる人材を養成します。特に、生理学、臨床心理学、保健学、運動学、社会福祉学の諸分野を深く学び、学校を含めた地域社会の健康教育の問題に実践的対応ができる人材を養成します。

養成される人材としては、医療機関職員（カウンセラーなど）、社会福祉関係機関職員、高齢者福祉関連施設職員、民間スポーツ企業、養護教諭、保健教諭などがあります。



# 地球人は科学する 理学部

新しい理学部は、専門知識と同時に、自然科学の幅広い素養を身につけ、複合領域や学際領域にも柔軟に対応できる「創造力のある人材」の養成を目指す。そのために狭い枠にとらわれない総合的な基礎教育と基礎的な専門教育の基盤の上に、8つの専門教育コースを設けます。



## ＜理学部は変わります＞

火山や台風などの自然災害の常襲地帯である鹿児島、緑豊かな鹿児島、ロケット基地や電波望遠鏡のある鹿児島、そして日本の夜明けを切り開いた鹿児島、その鹿児島大学にある理学部は大きく変わります。

## ＜しっかりした基礎に立つ新組織＞

この改革では基礎科学といわれる理学の中でも基礎をになう数学や物理学といった学問の基盤を固めるだけでなく、鹿児島らしい宇宙科学の展開を図って「宇宙情報講座」が設置されます。

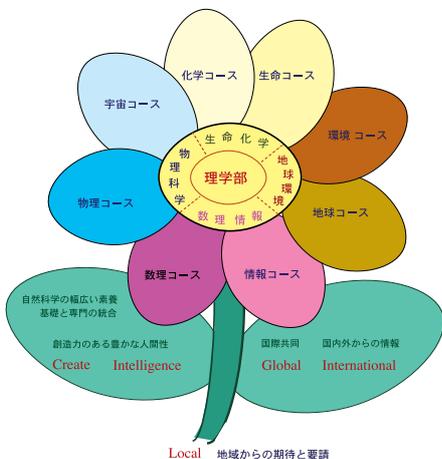
今までの化学・生物学・地学といった分野を再編成して、21世紀に向けて大きく展開を始めた生体高分子や生命についての分野（生命化学科）と豊かな鹿児島の自然の中で地球環境について新しい発展をめざす分野（地球環境科学科）が発足します。

## ＜総合的な新学科＞

皆さん方の中には、慣れ親しんでいる化学や生物学や地学が新しい理学部からなくなってしまったと思って、あわてる方もあるかも知れませんが、なくなったわけではありません。生命化学科や地球環境科学科の基盤として、しっかり残され、その上により総合的な新しい学科が編成されるのです。



新理学部の学科と講座の編成



理学部の8専門教育コース

## ＜教育システムも変わります＞

今までの理学部ではそれぞれの学科ごとに入学し、一度入学すると「あれ、ちょっと違う」と思っても、好きな分野に転学するのはなかなか困難なことでした。しかし新しい理学部では、教育理念として「専門知識と同時に、自然科学の幅広い素養を身につけ、複合領域や学際領域にも柔軟に対応できる創造力ある人材の育成」を掲げ、4学科8教育コースとする教育体制を作ります。

教育コースには数理・情報・物理・宇宙・化学・生命・地球・環境の8コースが設定されます。教育目的に沿って、柔軟にコースの選択が出来る教育システムを採ります。入学時に、適性や将来の目標をよく考えて学科を選ぶ必要はありますが、基礎教育と幅広い基礎的な専門教育を受けた後、これらコースを選択できるようになっています。

## 理学部の4学科

### 数理情報科学科

数学は、真実をより深く理解し伝達するために発展した人類の叡知です。現代において、数学のもつ豊かな内容は自然科学・社会科学の諸領域で大いに活用され、さらにコンピュータのめざましい発展は数学の新しい局面を開扉しています。

本学科では、こうした多面的で生き生きした数学を扱い、数学的思考力を育み、これを軸に数理科学及び情報科学の知識と経験を深める教育・研究にあたります。学び、発見し、創造することの喜びを、諸君達と共に分かち合っていきたいと考えます。

Let's Do Math!!

〈構成講座〉数理構造, 現象数理, 情報数理

### 物理科学科

物理学は自然科学のなかでも最も基礎的な学問であり、物質の微視的な構成要素から巨視的な物質の系をへて宇宙までを研究対象とし、現象や性質を基本的に普遍的な立場から見ます。

本学科では素粒子、固体、宇宙を研究対象としてきたグループが合同することによって研究をより活性化させ、広い視野をもった、将来の科学技術を支えうる人材を養成します。

〈構成講座〉物性理論, 固体物理, 宇宙情報

### 生命化学科

分子が集合する際の基本原理あるいは分子の構造と生理活性の関係を探求する化学を基礎として、生命という複雑なシステムを分子や細胞、あるいは器官のレベルで解析します。生命科学の分野で旧来の化学と生物学が融合した新しい発想を生み出す人材の育成を目指しています。

生命科学に関わる医、歯、農、工、水産等の学部とも連携し、鹿児島大学における生命科学の新たな展望を切り開きます。

〈構成講座〉分子機能化学, 有機生化学, 生命機能

### 地球環境科学科

地球環境は、今も激しく活動を続ける地球とそこで営まれる生命活動によってなりたっています。近年の人間活動は、このバランスを崩し、地球規模の急激な環境変化を引き起こして、地震や噴火などに対する抵抗力の低下をまねいたり、生態系の異変を生じさせたりしています。

地球環境科学科では、従来の化学・地学・生物学を基礎として、グローバルな視点から地球環境の諸問題に対応できる人材の育成をめざしています。また、理学部付属の南西島弧地震火山観測所とも密接な連携をもって研究・教育にあたります。

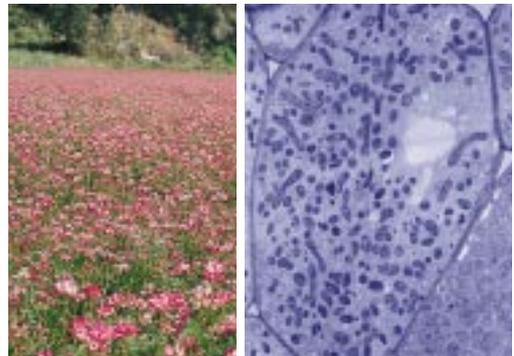
〈構成講座〉地質科学, 島弧火山, 環境解析, 多様性生物学



〈コンピュータを利用したセミナー〉



〈極低温での磁性体のNMRの測定〉



〈根粒をもつレンゲと細胞内の根粒菌〉



〈火山地質の野外調査実習〉



# 人間性豊かで国際的な 医師・研究者をめざして 医学部

近年は、国民の健康に対する関心、あるいは疾病の予防、治療に対する急激な意識の高まり、インフォームドコンセント、患者の自己決定権に基づく良質の医療への要望等様々な医療をとりまく状況化の現状に対応するため、学部学生及び大学院生に自主性や創造性を身につけさせ、問題解決能力の涵養を図り、医学及び関連諸科学の進歩と医療をめぐる社会情勢の変化に対応できる基盤を培うための教育を目途としています。さらに医療を予防、診断、治療からリハビリテーション及び健康保持までの一貫した包括的なものとして認識し、患者こそ最高の師であるという意識を持った人間性豊かな医人の育成を図ることを目指しています。

医学部は、15の基礎講座、20の臨床講座、3の附属研究施設及び事務部で構成されており、平成9年度から1講座の増設が見込まれています。

## 改組の概要

医療の倫理に基づいた医療を実践できる医師、国際的医療に対応できる医師を養成するため「医療総合科学講座」を増設し、医学をとりまく諸科学との融合を図る教育を推進しています。

また、早期の段階から医学生としての自覚をもたせるよう新しいカリキュラムを編成し、医学部独自の6年一貫教育体制を確立しています。



## カリキュラム

一 年	前期	共通教育科目 教養科目 { 個別科目 哲学、倫理学、社会学、法学、教養統計学、物理学、化学など 主題科目 科学と宗教、家族社会学、数の世界、原子物理学入門など 開放科目
	後期	外国語科目 体育・健康科目 情報科学科目 情報活用基礎、情報科学入門、総合講義「情報」
二 年	前期	基礎教育科目 { 統計学、有機化学基礎、物理学基礎、生命科学基礎 物理学実験、化学実験、生命科学実験 医学入門分野 { 医学生物学、人体生理学入門、看護学概論、看護 体験学習など
	後期	基礎医学分野 解剖学、生理学、生化学
三 年	前期	医科学分野 腫瘍学、実験動物学、分子生物学
	後期	基礎医学分野 薬理学、病理学、細菌学、ウイルス学、医動物学 社会医学分野 衛生学、公衆衛生学
四 年	前期	医科学分野 難治性ウイルス病学、医療情報学、 基礎医学特別コースなど
	後期	社会医学分野 法医学
五 年	前期	臨床医学分野 { 内科学、リハビリテーション医学、神経精神医学、 小児科学、外科学、脳神経外科学、整形外科、 皮膚科学、泌尿器科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、 放射線医学、産科学婦人科学、麻酔・蘇生学、 臨床検査医学、小児外科学
	後期	
六 年	前期	医療科学分野 { 臨床薬剤学、心身医療学、手術医学、救急医学・ 集中治療医学、輸血学など
	後期	



## 大学院医学研究科（博士課程、標準修業年限4年）

大学院医学研究科（博士課程）は、研究者要請を主眼とし、医学研究のさまざまな分野で自立して研究活動を行うのに必要な基礎となる学識と高度の研究能力とを養うことを自的としています。

研究科には、生理系専攻、病理系専攻、社会医学系専攻、内科系専攻及び外科系専攻の合計5専攻課程があり、各専攻課程には、基礎医学から臨床医学まで多彩な研究分野が配置され、相互に有機的に連携して教育と研究活動を行っています。

## 医学部附属病院

大学附属病院は、医学教育・研究実践の場であると同時に地域における先導的中核医療機関としての使命をもっています。

現在、19の診療科、13の中央診療施設等、薬剤部・看護部及び事務部で構成されており、特定機能病院として、重症・難病患者の診療、高度先進医療、末期医療及び高齢化社会に対応した医療体制の確立に向けて取り組んでいます。



## 豊かな人間性と最先端医療技術、社会に 求められる歯科医療をめざして 歯学部

医療従事者には、他の分野にも増して幅の広い教養とそれに裏打ちされた豊かな人間性、確かな倫理観が要求されます。また、近年の飛躍的な生命科学の進歩は、歯科医療にも大きな変革をもたらしています。これからの歯科医療従事者は、このような社会のニーズに応えられる人間でなくてはなりません。歯学部及び大学院歯学研究科では、21世紀に通用する歯科医療従事者、研究者、教育者の養成を目指しています。

### 改組の概要

歯科基礎科学講座を増設すると共に、一般教育や隣接医学にも十分に配慮したカリキュラムを編成し、歯学部独自の6年一貫教育体制を確立します。

### 6年間の教育内容の概要

- 共通教育科目： 心理学、倫理学などの人文・社会科学の他、外国語、情報科学など
- 基礎教育科目： 数学、物理学、生物学、化学などの自然科学
- 導入系科目： 歯学概論、臨床歯科概論
- 基礎系科目： 解剖学、生理学、病理学、歯科理工学などの歯科基礎医学
- 保健・社会系科目： 予防歯科学、衛生学、公衆衛生学、社会歯科学など
- 臨床系科目： 歯科保存学、歯科補綴学、口腔外科学などの歯科臨床医学の他、内科学、耳鼻咽喉科学、眼科学などの隣接臨床医学
- 歯学総合科目： 歯学総合演習、総合基礎カンファレンス、総合臨床示説など
- 臨床実習： 臨床実習（1）および（2）
- 選択科目： 学生自身が興味のある科目を1つ選び、実験、演習などでさらに深く勉学する機会を与える本学部独自のカリキュラム

年次	1		2		3		4		5		6			
学期	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
科目	← 共通教育科目 →		← 導入系科目 →		← 基礎教育科目 →		← 基礎系科目 →		← 保健・社会系科目 →		← 臨床系科目 → (臨接臨床医学を含む)		← 臨床実習 →	
概要	幅広い教養と、歯科医学を学ぶための基礎知識を修得します。		歯科医学の基礎を講義、実習、演習などを通して学びます。		臨床歯科医学を講義、模型などを用いた実習、演習を通して学びます。		臨床歯科医学を講義、模型などを用いた実習、演習を通して学びます。		臨床歯科医学を講義、模型などを用いた実習、演習を通して学びます。		附属病院での実習を通して、歯科医学を実地に習得します。			



組織学実習



秋の大学祭



生理学実習(筋電図を採る)



附属病院での臨床実習



レーザーメスを用いた口腔外科手術

## 大学院歯学研究科（博士課程、標準修業年限4年）

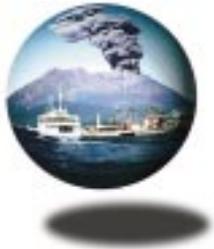
本研究科では、19の授業科目（講義、演習及び実習）が開講されており、学部の講座の枠を越えた複数（通常2～3名）の教官が協力して、1つの授業科目を担当する体制をとっています。また、大学院では歯科医学及びその学際的な分野の研究が精力的に進められています。

### 歯学研究科の教育内容の概要

年次	1	2	3	4
内容	専攻科目の他、いくつかの授業科目を選択し、その講義、実習、演習を通じて、研究能力をつけます。		指導教官の研究室で与えられたテーマの研究に専念し、学位論文を完成させます。	
学位	<p>大学院学生の授業受講に要する時間は比較的少なく、それ以外は指導教官の指導を受けて研究を行うこととなります。また、後半の2年間は、全ての時間を自己の研究テーマに没頭できるように配慮しています。</p> <p>所定の単位を修得し、かつ論文審査及び試験に合格すると、博士（歯学）又は博士（学術）が授与されます。</p>			

## 歯学部附属病院

附属病院には11の診療科があり、学部学生の臨床実習、卒業生の卒後臨床研修の場を提供すると共に、診療を通じて高度な歯科医療の開発を行ない、これを地域社会に提供しています。



## 自然と共生するエンジニアの夢 工学部

工学は、自然の仕組みをうまく利用して、人々の生活に役立ててきました。21世紀に向けて、人類の明るい未来を築くために、自然の仕組みを深く理解して、これをうまく利用し、人々に優しく、自然と共生できる技術を開発してみませんか。そして、環境問題、食糧問題、エネルギー問題の解決に挑戦してみませんか。

### 機械工学科

機械工学は、ともすれば高効率や高性能のみを追及してきましたが、これに対し深刻な反省が生まれています。現在、省資源（リサイクル）、省エネルギー、環境との調和をはかった、より広い視野の上に立った機械技術の探究が要請されています。この目的に対し、今までの専門分野別の講座編成を改め、統合化技術を積極的に取り入れ、社会の要請に応えることのできる技術者を育成できるよう、設計生産システム工学講座とエネルギーシステム工学講座の二大講座制に改組しました。狭い専門分野のみに限定されることのない、社会が望むこれからの技術者が生まれることが期待されます。

### 電気電子工学科

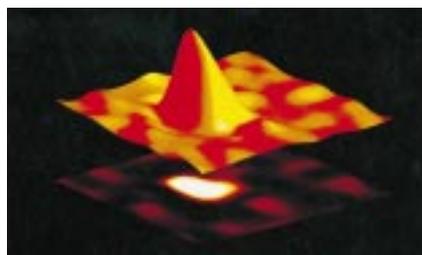
現代の最先端科学技術の研究開発やそれらの成果を私たちの生活に真に役立つものにするために、非常に多くの分野で電気電子系の有能な技術者、研究者が必要とされています。本学科では、この時代の要請に応える教育研究体制を整え、超伝導技術など新素材の物性・デバイス、電気エネルギー・電気機器工学、コンピュータ、通信システム、制御システム、超高周波回路技術等の諸分野を配置して、斬新で魅力あるカリキュラムを組んでいます。なお、本学科の生体関連分野は新設の生体工学科の核の一部として移行しています。

### 建築学科

建築に要求される安全性・機能性・快適性・芸術性のうち、安全性に関わる事柄は建築構造・材料の分野で、機能性・建築美に関わる事柄は建築計画・建築意匠の分野で、居住空間の快適性に関わる事柄は建築環境の分野で研究・教育なされておりますが、これらを有機的に関連付け教育・研究に反映させるため建築学科は2大講座から構成されています。カリキュラムは幅広く学び、建築に対する総合的な理解が深まるように工夫されています。卒業生は建設会社、設計事務所、官公庁の他、建築を学ぶことによって修得される総合的な判断力が評価され、建築関係以外の企業からも多数の求人があります。

### 応用化学工学科

本学科では、バイオ研究を含む先端化学技術の研究が活発で、この度その生体関連部門を生体工学科の核として発足させ、改めて21世紀に向けた創造性豊かで応用範囲の広い化学技術者の育成を目指しています。本学科は、分子工学、機能材料工学、化学システム工学の3大講座からなっており、分子設計、触媒反応工学、環境化学、化学計測学、機能性高分子、無機複合材料、エネルギー化学、分離工学、化学装置システム等の応用化学工学分野の基礎から応用まで履修できるプログラムを用意しています。また生体工学科とは教育研究上密接な協力関係にあり、バイオ関連分野も履修できます。



## 海洋土木工学科

当学科では従来から、海への深い理解の上に立ち、土木工学と海洋学を有機的に結び付け、人類生存に役立つ海洋環境の保全、開発および防災に対応し得る技術者の養成を目指してきた。今回、地球温暖化に伴う自然災害の変化への対応と地域社会からの要請に応えるために、防災工学分野の充実を図るため講座の再編を行った。

## 情報工学科

情報工学科では、世界的な規模で進展し拡大する情報化社会を支える高度な技術者を育成するために、従来の計算機のハードウェア、ソフトウェアの技術のほかにマルチメディアおよび情報ネットワークの技術を加え、さらに実験、演習を重視した教育を行います。情報は便利ですが脆弱で危険な側面がありますので、情報セキュリティ技術、情報通信倫理の教育も用意されています。又、自由な発想のコンピュータを設計する演習を行い、将来の新しい技術に対応できる創造性豊かな人材を育成します。卒業後は、ソフトウェア会社、メディア関連企業、通信ネットワーク関連企業、情報電子機器・半導体製造企業など多方面への就職が見込まれます。

## 生体工学科

先端化学と先端電子工学が融合した新しい学科、生体工学科が4月に開設されます。この学科は生体を分子や電子のレベルで理解し生体のミクロの構造の解析を通して生体が用いている精緻な構造や機能を模倣した新技術の開発と、医療を含め人の健康の維持増進や社会活動の支援のための新材料や新技術の開発の2つを教育研究の柱として、医薬産業、バイオテクノロジー、生体電子デバイス、医用電子産業などの技術者養成を目的とした、全国でも初めてのバイオ、化学、電子工学の融合を実現させる学科です。

工学部	大学院工学研究科	
	博士前期課程 (2年間)	博士後期課程 (3年間)
機械工学科	機械工学専攻	物質生産工学専攻 システム情報工学専攻
電気電子工学科	電気電子工学専攻	
建築学科	建築学専攻	
応用化学工学科	応用化学工学専攻	
海洋土木工学科	海洋土木工学専攻	
情報工学科	情報工学専攻	
生体工学科		



21世紀へはばたく

農学部

衣食住の生活資材の生産管理  
生物機能の人類福祉への活用  
人間と自然の調和  
豊かな緑と潤いのある生活  
国際性の涵養と国際協力

## 生物生産学科

農畜産物の生産・流通、遺伝資源、  
ゲノム解析、病害虫制御システム

## 生物環境学科

農山村社会の環境保全、地域アメニティ、  
ゼロエミッション、環境と生産・加工技術

## 生物資源化学科

食と健康、生命機能、  
食品機能、食糧生産

## 獣医学科

家畜・伴侶動物の疾病・予防、公衆  
衛生、動物福祉

## 生物生産学科

育てることの感動が、キミの中で目をさます

最先端技術を駆使した動植物の改良・生産から、農産物の貿易まで、衣食住の根幹にかかわる分野の教育研究を行います。既設の生物環境学科から植物保護講座が移り、新たな生物生産学科は、植物生産学コース（作物生産学講座、園芸生産学講座、病害虫制御学講座）、家畜生産学コース（家畜生産学講座）、農業経営経済学コース（農業経営経済学講座）の3教育コース5講座から構成されています。1年生では共通講義を受講し、2年生より各コースに進みます。

## 生物資源化学科

ミクロからマクロまで

人類の豊かな食と健康をめざし、地球表層、生物資源と生命機能を有機的に結び、化学、生化学、ライフサイエンス、バイオテクノロジーを活用して、高品質、安全な食糧、食品、機能性素材などの開発に関わる研究・教育を行います。既設の生物環境学科から食糧生産制御化学講座が移り、新たな生物資源化学科は、生命機能化学コース（生命機能化学講座）、食品機能化学コース（食品機能化学講座）、食糧生産化学コース（食糧生産化学講座）の3教育コース3講座から構成されています。2年生まで共通講義を受講し、3年生より各コースに進みます。卒業生は食品衛生管理者等の資格を取得できます。

## 生物環境学科

環境への思いやりの中に、農林業の優しさを学ぶ

大量消費・大量廃棄型ではない持続可能な循環型社会の実現に向け、人々の生活の向上、農林業と関連産業の発展を促すための基礎から応用にいたる教育研究を行います。教育は多様な視点（工学・技術的、生態学的、社会科学的）から行われ、環境保全型社会の実現のために能力を発揮できる人材の育成をめざします。既設の生物生産学科から森林資源学講座と農業システム工学講座が移り、新たな生物環境学科として森林管理学コース（森林管理学講座）、地域資源環境学コース（地域資源環境学講座）、農林工学コース（農林工学講座）、生産環境工学コース（生産環境工学講座）の4教育コース4講座から構成されています。

## 獣医学科

動物たちへの愛情が、キミの知を育てる

動物の健康を保持するための病気の原因や予防・治療法並びに、人類が健康な生活を営むために必要な食品や医薬品及び環境の安全性を確保するための教育研究を行います。獣医学科は6年制で、家畜解剖学、家畜生理学、家畜薬理学、家畜病理学、家畜微生物学、獣医公衆衛生学、家畜内科学、家畜外科学、家畜臨床繁殖学の9講座（学科目）から構成され、卒業生は獣医師免許の受験資格を得ます。

## 大学院

◎設置大学

大学院農学研究科  
(2年の修士課程)

生物生産学専攻  
生物資源化学専攻  
生物環境学専攻

鹿児島大学大学院  
連合農学研究科  
(後期3年の博士課程)

連合農学研究科  
生物生産科学専攻  
生物資源利用科学専攻  
生物環境保全科学専攻  
水産資源科学専攻

構成大学  
◎鹿児島大学  
佐賀大学  
宮崎大学  
琉球大学

山口大学大学院  
連合獣医学研究科  
(4年の博士課程)

連合獣医学研究科  
獣医学専攻  
構成大学  
◎山口大学  
鳥取大学  
宮崎大学  
鹿児島大学



# 海洋環境を保全し水産資源の持続的・高度利用をめざす 水産学部

鹿児島大学水産学部は、次の理念に基づいて、新しく生まれ変わります。

○21世紀における水産学の教育研究基盤の構築

水圏からの食糧生産と海洋環境保全に関わる問題、地域振興及び水圏の利用に伴う国際、国内問題に対応する教育課程と教官組織の編成

○地球的視野で水産資源と環境保全を考える水産人の養成

専門分野を3つの教育コースに大別し、水産に関する総合的知識を有し、豊かな人間性を持つ水産人の養成

○水産各分野の高度化に対応

学部及び大学院教育の充実と研究の活性化を図るため、教官組織を5大講座に再編

○国内外の地域社会の発展に貢献

研究及び生涯教育による地域社会への貢献並びに留学生の教育、国際学術交流・技術移転による国際貢献

学科構成である水産学科と水産教員養成課程を継承し、教育研究組織の拡充再編を行いました。

## 水産学部の教育研究組織

### 水産学部

水産学科  
水産教員養成課程

(教育コース)  
水産環境コース  
水産資源コース  
水産総合コース

(講座)  
環境情報科学講座  
漁業基礎工学講座  
海洋社会科学講座  
資源育成科学講座  
資源利用科学講座

水産専攻科（遠洋漁業専攻）  
大学院水産学研究科（修士課程）水産学専攻  
大学院連合農学研究科（後期3年の博士課程）水産資源科学専攻

## 講座

### 環境情報科学講座

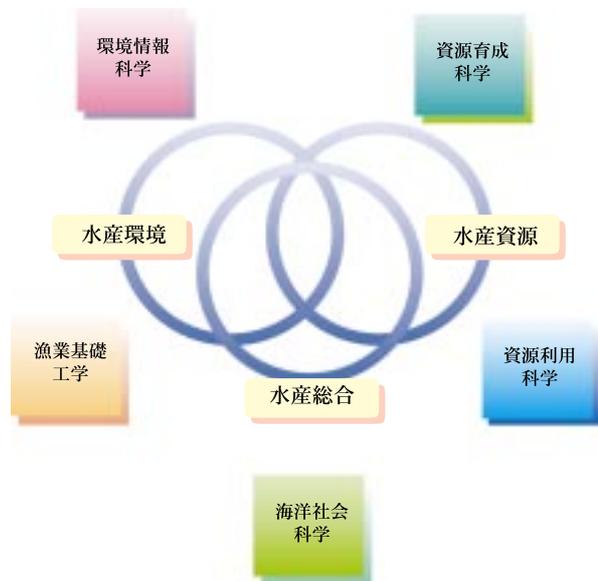
海洋生態系の物理的環境と航海、船舶の運動を含めた海洋情報科学の分野の教育研究

主要授業科目：環境情報処理学、海洋物理学、水産海洋学、沿岸海洋学、海洋音響学、海洋浮体情報学、漁船測位情報学、漁船・浮体工学等

### 漁業基礎工学講座

資源生物の行動の解明と探査、採捕の技術開発及びそれらの国際的水産技術援助・技術移転協力の分野の教育研究

主要授業科目：国際漁業開発工学、海洋漁業学、漁業生産設計学、水産動物行動学、水産電子工学等



## 海洋社会科学講座

水産と海洋に関連した国際問題、経営、経済、歴史、文化、法律を含めた幅広い新しい海洋社会科学の分野の教育研究

主要授業科目：海洋国際関係論、海洋社会環境論、海洋社会文化論、水産法学、海洋経営経済学、海洋地域論等

## 資源育成科学講座

海洋生物の分類、生理生態並びに良好な海洋環境と調和した増養殖による魚介類の開発・育成、持続生産機構を解明する分野の教育研究

主要授業科目：資源持続生産学、基礎生産論、海洋植物学、水産動物学、魚類学、水産資源学、資源生物学、水産増殖学、比較生理学、増殖生理学、浅海堆積学等

## 資源利用科学講座

食糧としての海洋生物資源の有効利用、生理機能物質の開発、生物の代謝機構及び生命現象の解明等の分野の教育研究

主要授業科目：水産生物化学、水族栄養化学、水産食品化学、海洋微生物学、細胞化学、分子生物学、水産食品工学等



## 教育コース

### 水産環境コース

漁業資源の有効利用に関する分野の教育  
海洋生態系の環境、漁獲のための魚類の行動、漁具の運用、漁船の運用、海外での水産技術協力に関する分野に進出する人材を養成します。

### 水産資源コース

資源生物の生産、高度利用のための水産資源の開発・育成、生物資源の持続生産並びに水産化学、水産食品の開発に関する分野の教育

沿岸海域での増養殖による水産資源の開発・育成、水産物の高度利用、機能的食品、薬品、養魚飼料の開発等に関する分野に進出する人材を養成します。

### 水産総合コース

水産学全般にわたり広範な知識と技術の教育  
広い視野を持ち、十分な外国語素養を持った水産行政、試験研究機関、水産諸団体、水産物流通企業に進出する人材及び漁業後継者等の人材を養成します。



## 水産教員養成課程

水産系高校の教育内容は水産分野、海洋産業分野等広範囲になっており、本課程は、水産高校教員免許取得のためのカリキュラムと水産学科のカリキュラムを有機的に組み合わせ、水産系高校教員としての学識と豊かな人間性、行動力を持った人材を養成します。



さらに高度な教育と研究をめざして —大学院・専攻科—

本学には、次の10に及ぶ大学院が設置されています。  
 大学院では、近年における学術研究の進展や急速な技術革新、国際化、情報化及び生涯学習社会の進展などに伴い、創造性豊かな優れた研究者の養成、高度な専門的知識・能力を有する職業人の養成と社会人の再教育を行うとともに国際的水準の研究を推進しています。  
 また、海からの食料生産の最先端で働く高度な技術者を養成するため、水産専攻科が設置されています。

鹿児島大学  
大学院・専攻科

**教育学研究科**  
 修士課程  
 学校教育専攻  
 教科教育専攻

**理学研究科**  
 修士課程  
 数学専攻  
 物理学専攻  
 化学専攻  
 地学専攻  
 生物学専攻

**医学研究科**  
 博士課程  
 生理系専攻  
 病理系専攻  
 社会医学系専攻  
 内科系専攻  
 外科系専攻

**法学研究科**  
 修士課程  
 法学専攻

**人文科学研究科**  
 修士課程  
 文化基礎論専攻  
 地域文化論専攻

**歯学研究科**  
 博士課程  
 歯学専攻

**工学研究科**  
 博士前期課程 博士後期課程  
 機械工学専攻 物質生産工学専攻  
 電気電子工学専攻 システム情報工学専攻  
 建築学専攻  
 応用化学工学専攻  
 海洋土木工学専攻  
 情報工学専攻

**水産学研究科**  
 修士課程  
 水産学専攻

**農学研究科**  
 修士課程  
 生物生産学専攻  
 生物資源化学専攻  
 生物環境学専攻

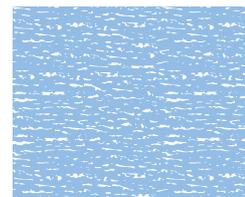
**水産専攻科**  
 遠洋漁業専攻

**連合農学研究科**  
 博士課程  
 生物生産科学専攻  
 生物資源利用科学専攻  
 生物環境保全科学専攻  
 水産資源科学専攻  
 ※鹿児島大学を設置大学とし、佐賀・宮崎・琉球大学の四大学で構成

**連合獣医学研究科**  
 博士課程  
 獣医学専攻  
 ※山口大学を設置大学とし、鹿児島・鳥取・宮崎大学の四大学で構成

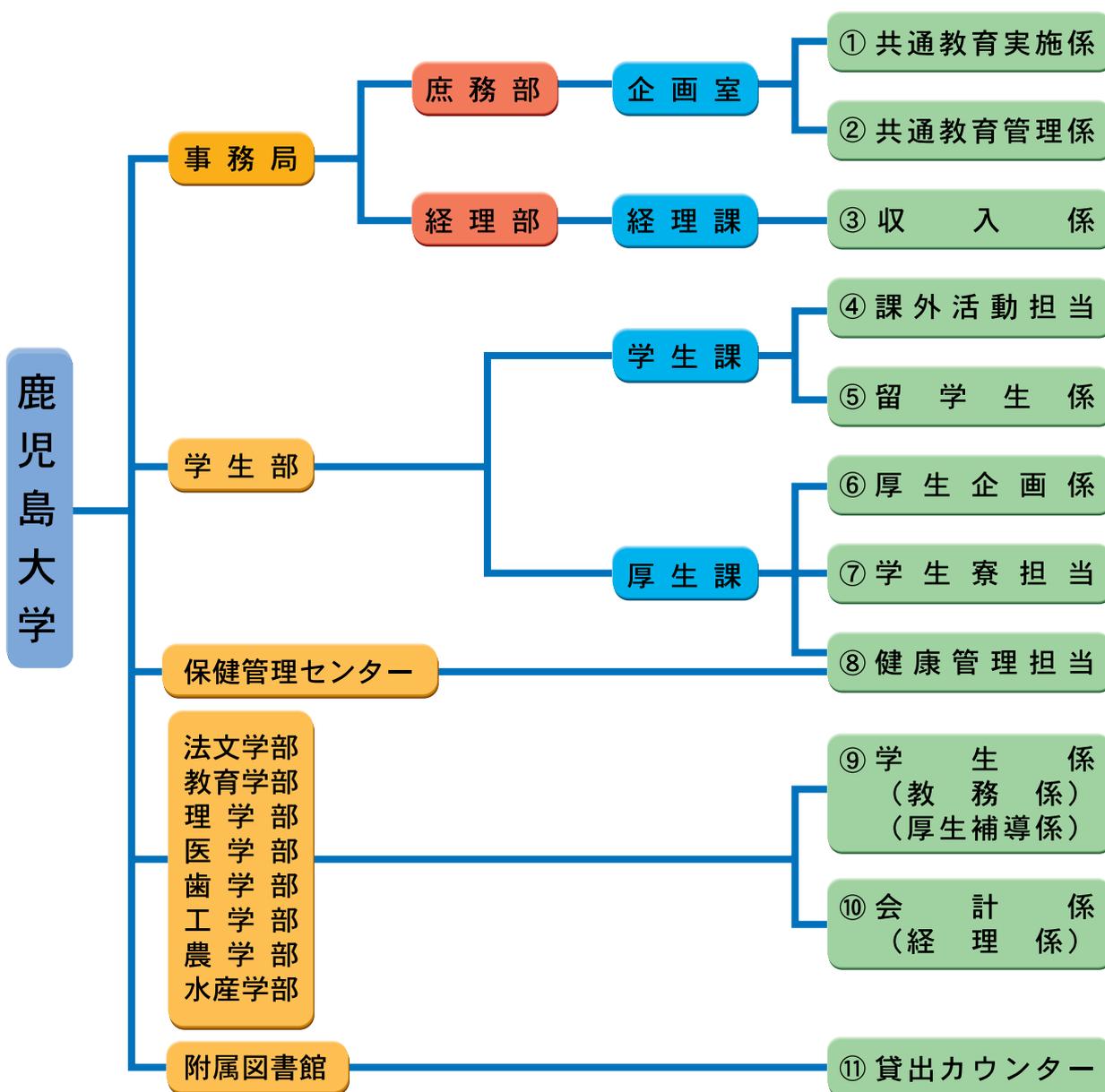


# 有意義な学生生活を送るために



鹿児島大学では、学生の修学・学資・健康・課外活動等学生生活全般にわたる助言・援助を行っています。学生の皆さんが、有意義な学生生活を送るためには、大学の組織とその窓口となる係等を良く知ることが大切です。ここでは皆さんの学生生活に密接に関わる担当窓口を紹介します。詳細については直接担当窓口でお聞き下さい。

## 学生生活に関わる組織

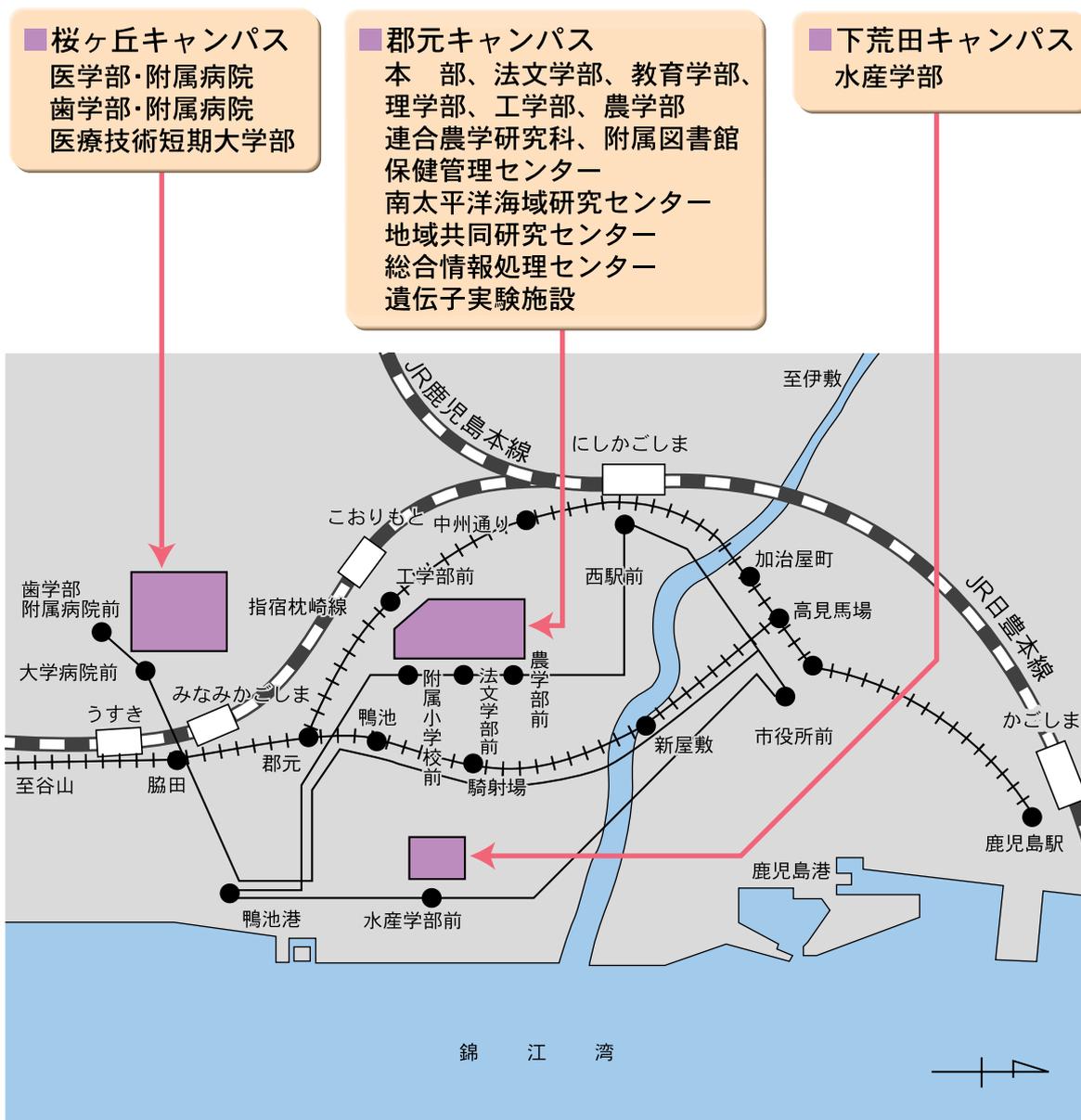


# 主な担当窓口

(注) 丸数字は左ページの右側の係または担当などの数字に対応しています。

事 項	担当・係の窓口
修学上の相談 オリエンテーション、受講届 試験・成績発表、既修得単位の申請・認定	① ⑨
学生カード・住所届の提出、学生証の発行	① ⑨
休学願、退学願、復学願、転学願、欠席届	① ⑨
諸証明書の申込み、学割証の申込み 入構許可証の申込み	① ⑨
団体等の結成願、課外活動に係る相談 課外活動施設の利用願	④
入学料免除願、アルバイト・貸間等の紹介	⑥
授業料免除願、奨学金申請	① ⑨
定期健康診断 診察・検査・応急措置 心理相談・学生相談	① ⑧ ⑨
学生寮の入・退寮の申込み	⑦
学生教育研究災害傷害保険申込み	⑧ ⑨
スポーツ安全保険申込み	④
留学生の在学中の諸相談 国際交流事業の窓口 国際交流会館入・退去の申込み 海外留学に関する情報提供	⑤
図書閲覧、参考調査等	⑪
入学料の納入	③
授業料・寄宿料の納入	⑩

# 鹿児島大学の位置



編集・発行…鹿児島大学広報委員会

問い合わせ先…鹿児島大学庶務部庶務課

〒890 鹿児島市郡元一丁目21番24号

代表電話 099 (285) 7111・FAX 099 (285) 7034

鹿児島大学ホームページアドレス <http://www.kagoshima-u.ac.jp/>

発行：平成9年1月10日

本冊子における改革内容は、平成9年度予算の成立及び関係法令の制定により最終的に確定するものです。